

乙酉の年



今年は酉年で私は年女です。年齢がバれてしまいますが、酉は酉でも私の酉は癸（みずのと）の酉で前回が還暦でした。今回は乙（きのと）の酉。いかなれば終戦の年の還暦となります。五十年百年という年は、記念事業もあれこれ行われますが、古来の暦からいう還暦は意味のある年であり、終戦についても深く省みるべき年だと考えます。太平洋戦争を体験した方々は、年々少なくなっています。私達の世代は、参戦こそしなかつたものの、爆撃や疎開、食料難などを厭うというほど味合わされました。こんな苦しみをお供たちにはさせまいとの親心

で、大切に育てた私たちの子供が、現在の子どもたちの親の世代となり、現在の平和は当然、当たり前。関心のない人々に、どのような犠牲を払って現在があるのかを教えることは本当に至難なことでは。ともすれば目先の忙しさに紛れておざりにして来た戦争体験の伝承を今こそ真剣に考えるべき時だと思えます。六十一年前の大混乱が現実とは思えないほどの現代ですが、還暦として一巡りした今日、復古の大きなうねりを感じるので、確かに敗戦です。から、失うべきでなかつたものも失われていくでしよう。しかし大きな犠牲を払って勝ち取ったもの、平和と「戦争放棄」は絶対に守る必要がある。改憲の必要があるのか、のがあるか、この国がどうなっていくのか、私には分かりませんが、この二点を曲げることのないよう目をカッ

と見開いて、声を上げるべき時には上げようと思つています。

さて我が亭主の言によると、酉年生まれはトツパトツパしてあれこれ落ちつきなく動き回るのだそうです。そういわれると私は一言もないのです。多分今年もトツパトツパしていることでしょう。そしてそれも皆さんのご支援を仰ぐことばかりでしょう。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて昨夜(1月23日)は相星雅子さんのエッセイ集の出版記念会が盛大に開かれました。主催者の方々もさぞ大変だったことでしょう。

やはり彼女の誠実なお人柄を大勢の方々が理解していらつしやると頷きました。

今まで何かあると下手ながら自分で運転して往復していたのですが、夜の山道を追い越されるのが怖い上

に、昨今は対向車のライトがとても眩しくなつて、夜分の遠出しはないように心掛けていました。それに前夜、入来峠は凍結してスリッパした車が何台もあつたと聞いて、これは一泊するより仕方ないなとビジネスホテルを予約してバスで行きました。

今朝チエツクアウトしてバスに乗ろうと、中央駅に来て時刻表を見ました。すると入来を通る宮之城行きのバスは6時、9時の次は12時しかないのです。昨夏までは確か五本ありました。新幹線が出来ても入来には関係ないのです。せめて一時間か一時間半くらいの間隔で走つてほしいではないですか。

入来町は川内市他4町3村が合併し薩摩川内市となりました。今、私が強く願つているのは、同じ市になつたのですから、甕島以外の地域のバス路線を整備してほしいことと、

老人には年一万円ほどで、乗り放題のパスを発行してほしいということ。無料とは云いません。今までも川内市内はくるくるバスというのを走らせていたそうですが、利用度は少なかつたようです。現在は他のバスも大抵はガラ空きで走っているのです。

東京に出ると思うのですが、都内は65歳以上に無料パスを発行しています。老人が結構歩いてデパートで特売品の買物をし、昼食にはお弁当を買って奥のコーナ―で肩を寄せ合つて食べているなど、都心がすごく活性化しています。パスがあれば、田舎のお年寄りが気楽に商店街まで出掛けたり、まだ知らぬ町の見学をするなど活性化が図られるでしょう。そこでまた今日、鹿児島市内と地方のバスの本数の少なさに思いました。県下全体の乗り放題の老人パス

を年間二万円位で作るようしたらどうだろうか。

鹿児島市内のバスは結構混み合っていますから、市内のみでは必要ないのかもしれないが、市外の県下何処へでも出掛けられるパスを考え、下さると嬉しいと思います。

時間はたつぷりあるのに車の運転出来なくて悩んでいる老人が、気楽に遠出も出来るようになれば、バスの本数も増えて地域もお互いに活性化することでしょう。

バス会社の採算もあるでしょうが、そこを上手にクリアして実現できるように賢い新知さんには是非お願いしたいものだと思つて願うものです。

